

## 令和2年度 学校評価アンケート中間まとめ結果

★アンケート回収率→生徒93%, 保護者79%

★Aよく当てはまる(4点) Bだいたい当てはまる(3点) Cあまり当てはまらない(2点) D全く当てはまらない(1点)

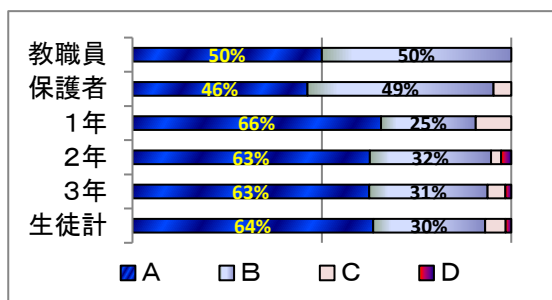
★目標値=3.0以上

### 1 満足度

生徒・保護者:南陽東中学校で楽しく学校生活を送ることができている

教職員:南陽東中学校に誇りをもち、「教職員の和」を意識して意欲的に働くことができている

	A	B	C	D	中間pt	R1中間
教職員	50%	50%	0%	0%	3.50	3.69
保護者	46%	49%	5%	0%	3.42	3.36
1年	66%	25%	9%	0%	3.56	3.47
2年	63%	32%	3%	3%	3.55	3.56
3年	63%	31%	5%	2%	3.55	3.71
生徒計	64%	30%	5%	1%	3.55	3.57

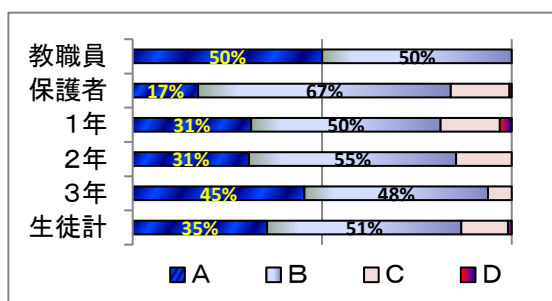


### 2 能力発揮

生徒・保護者:自分の能力を十分に発揮して生活していると思う

教職員:生徒一人一人の個性を認め、能力を発揮できる機会を生み出そうと努力している

	A	B	C	D	中間pt	R1中間
教職員	50%	50%	0%	0%	3.50	3.50
保護者	17%	67%	15%	1%	3.01	2.96
1年	31%	50%	16%	3%	3.09	2.86
2年	31%	55%	15%	0%	3.16	3.21
3年	45%	48%	6%	0%	3.39	3.17
生徒計	35%	51%	12%	1%	3.21	3.06

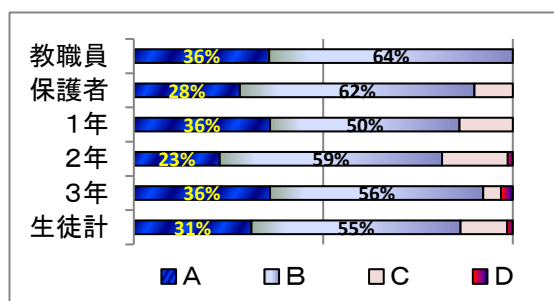


### 3 授業

生徒・保護者:授業は分かりやすく、取り組みやすい内容になっている

教職員:様々な工夫をして、分かりやすい授業をしている

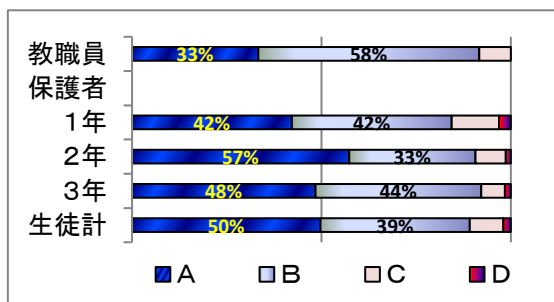
	A	B	C	D	中間pt	R1中間
教職員	36%	64%	0%	0%	3.36	3.19
保護者	28%	62%	10%	0%	3.18	3.04
1年	36%	50%	14%	0%	3.22	3.12
2年	23%	59%	17%	1%	3.03	3.25
3年	36%	56%	5%	3%	3.25	3.25
生徒計	31%	55%	12%	1%	3.16	3.20



### 4 道徳

生徒・教職員:道徳の授業では、他人を思いやる心や認め合う姿勢を身に付けたり、自分を見つめ直したりする機会が設定されている

	A	B	C	D	中間pt	R1中間
教職員	33%	58%	8%	0%	3.25	3.36
保護者						
1年	42%	42%	13%	3%	3.23	3.41
2年	57%	33%	8%	1%	3.47	3.48
3年	48%	44%	6%	2%	3.39	3.35
生徒計	50%	39%	9%	2%	3.37	3.42

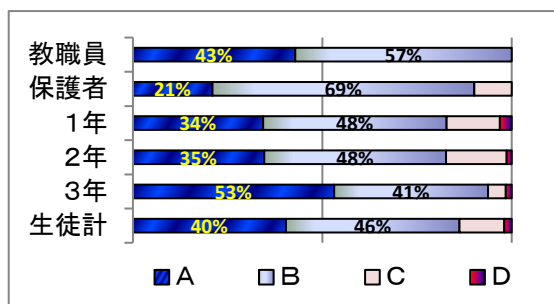


5 学び合い

生徒・保護者：各教科の授業や学活・道徳・総合の時間に、自分の意見や思いを積極的に伝えたり、友人の意見に真剣に耳を傾けたりしている

教職員：各教科の授業や学活・道徳・総合の時間に、生徒たちが積極的に発表できるよう支援したり、グループ学習など学び合いの場を工夫したりしている

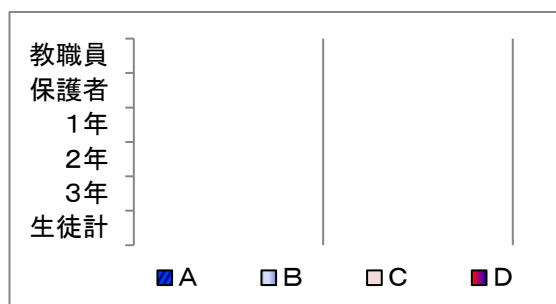
	A	B	C	D	中間pt	R1中間
教職員	43%	57%	0%	0%	3.43	3.40
保護者	21%	69%	10%	0%	3.11	2.95
1年	34%	48%	14%	3%	3.14	3.13
2年	35%	48%	16%	1%	3.16	3.36
3年	53%	41%	5%	2%	3.45	3.47
生徒計	40%	46%	12%	2%	3.25	3.30



6 奉仕活動

生徒・保護者・教職員：地域奉仕活動や花いっぱい活動は、豊かな心を身に付ける機会として有意義であると思う【今年度は年度末のみ】

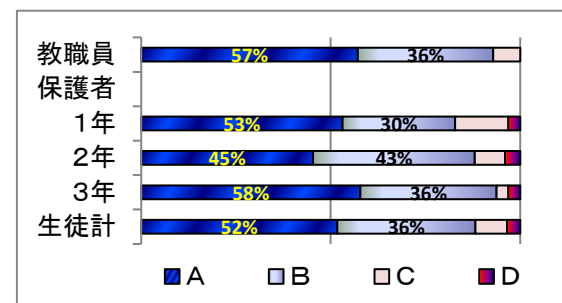
	A	B	C	D	中間pt	R1中間
教職員						3.50
保護者						3.45
1年						3.45
2年						3.36
3年						3.33
生徒計						3.44



7 漢字計算・朝読書

生徒・教職員：朝学習・朝読書・漢字・計算コンクールは、確かな学力を身に付ける機会として有意義であると思う

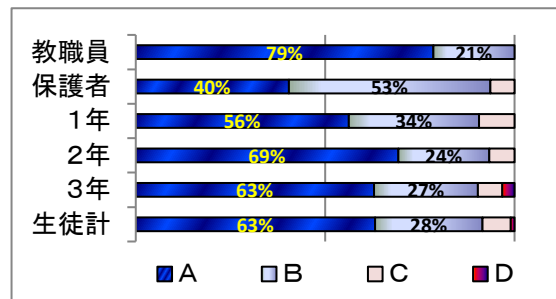
	A	B	C	D	中間pt	R1中間
教職員	57%	36%	7%	0%	3.50	3.44
保護者						
1年	53%	30%	14%	3%	3.33	3.26
2年	45%	43%	8%	4%	3.29	3.16
3年	58%	36%	3%	3%	3.48	3.33
生徒計	52%	36%	8%	3%	3.36	3.25



8 体育大会

生徒・保護者・教職員：球技大会や体育大会は、学級の団結力を高め、体力を高めることのできる機会として有意義であると思う

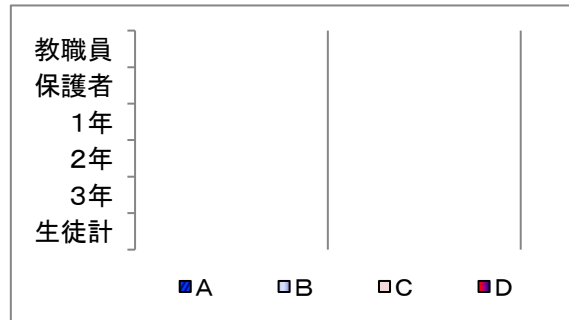
	A	B	C	D	中間pt	R1中間
教職員	79%	21%	0%	0%	3.79	3.88
保護者	40%	53%	6%	0%	3.51	3.56
1年	56%	34%	9%	0%	3.47	3.61
2年	69%	24%	7%	0%	3.63	3.52
3年	63%	27%	6%	3%	3.50	3.68
生徒計	63%	28%	7%	1%	3.54	3.60



9 文化祭

生徒・保護者・教職員：文化祭の合唱コンクールや作品展は、学級の団結を高めたり、互いの努力や能力を認め合ったりする機会として有意義であると思う【年度末評価で】

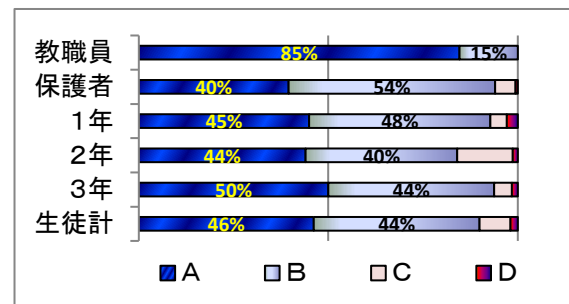
	A	B	C	D	中間pt	R1中間
教職員						
保護者						
1年						
2年						
3年						
生徒計						



10 親身な相談

生徒・保護者：先生たちは教育相談のときはもちろん、ふだんから親身になって相談事に応じてくれる  
 教職員：家庭訪問や教育相談・保護者会等も含めて、ふだんから親身になって生徒や保護者の相談に対応している

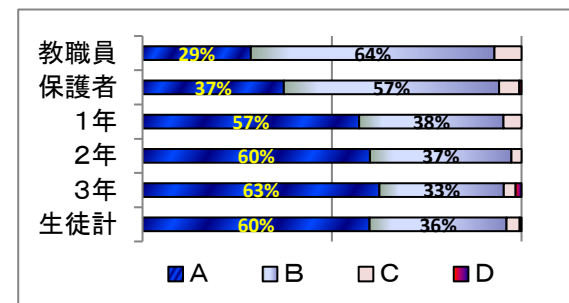
	A	B	C	D	中間pt	R1中間
教職員	85%	15%	0%	0%	3.85	3.75
保護者	40%	54%	5%	1%	3.33	3.22
1年	45%	48%	4%	3%	3.35	3.35
2年	44%	40%	15%	1%	3.27	3.25
3年	50%	44%	5%	2%	3.42	3.55
生徒計	46%	44%	8%	2%	3.34	3.38



11 基本的な生活習慣

生徒・保護者：学校はあいさつをしたり、身なりを整えたり、決められた時間を守ったりするなど、基本的な生活習慣を身に付けることができる  
 教職員：身だしなみや、あいさつ・言葉遣い・時間や約束を守ることなど基本的な生活習慣を身に付けさせるために、しっかり指導している

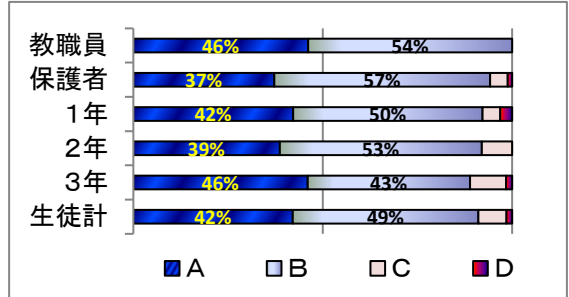
	A	B	C	D	中間pt	R1中間
教職員	29%	64%	7%	0%	3.21	3.31
保護者	37%	57%	5%	1%	3.31	3.22
1年	57%	38%	5%	0%	3.52	3.44
2年	60%	37%	3%	0%	3.57	3.42
3年	63%	33%	3%	2%	3.56	3.57
生徒計	60%	36%	3%	0%	3.55	3.47



12 生徒会

生徒：生徒会活動では、より充実した学校生活を送れるように、一人一人の意見を反映した活発な活動が行われている  
 保護者：学校は、学年通信やホームページで、学校の様子を保護者に伝える努力をしていると感じる  
 教職員：学年通信やホームページで、学校の方針や学校の様子を生徒や保護者に伝えている

	A	B	C	D	中間pt	R1中間
教職員	46%	54%	0%	0%	3.46	3.47
保護者	37%	57%	5%	1%	3.30	3.33
1年	42%	50%	5%	3%	3.31	3.39
2年	39%	53%	8%	0%	3.31	3.39
3年	46%	43%	10%	2%	3.33	3.43
生徒計	42%	49%	7%	1%	3.32	3.40

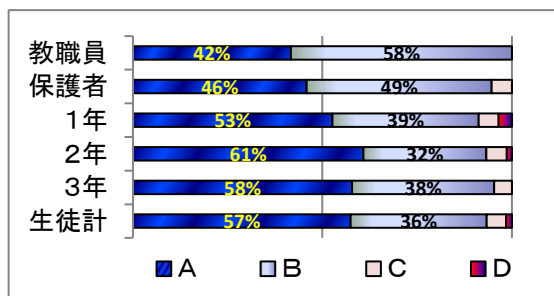


### 13 部活動

生徒・保護者：部活動は、学年の枠を超えた人間関係を学んだり、心身をきたえたりする場として有意義であると思う

教職員：部活動は、学年の枠を超えた人間関係の形成や心身の鍛練等を目的とし、一定の規律の下、指導を行っている

	A	B	C	D	中間pt	R1中間
教職員	42%	58%	0%	0%	3.42	3.40
保護者	46%	49%	5%	0%	3.40	3.34
1年	53%	39%	5%	4%	3.40	3.44
2年	61%	32%	5%	1%	3.53	3.38
3年	58%	38%	5%	0%	3.53	3.42
生徒計	57%	36%	5%	2%	3.49	3.42



## 令和2年度 学校評価アンケート中間まとめ<考察>

A 評価が高かった項目は以下の通りである。

生徒		保護者		教職員	
①満足度 基本的な生活習慣	3.55	①体育的行事	3.51	①親身な相談	3.85
②体育的行事	3.54	②満足度	3.42	②体育的行事	3.79
③部活動	3.47	③部活動	3.40	③満足度 能力発揮 漢字計算・朝読書	3.50

B 評価が低かった項目は以下の通りである。

生徒		保護者		教職員	
①分かりやすい授業	3.16	①能力発揮	3.01	①基本的な生活習慣	3.21
②能力発揮	3.21	②学び合い活動	3.11	②道徳の授業	3.25
③学び合い活動	3.25	③分かりやすい授業	3.18	③分かりやすい授業	3.36

Aの評価が高かった項目では、「体育的行事」について生徒・保護者・教職員すべての評価が高かったことが分かる。今年度はコロナ禍の中であったが、体育大会の種目や実施方法を工夫して開催し、クラスの団結力を高めることができた実感した結果であると考えられる。

生徒の評価では「基本的な生活習慣」が「体育的行事」とともに一番高かった。教職員の評価は他と比べて低いものの、A「よくあてはまる」B「だいたい当てはまる」を合わせると93%となり、おおむね良好と言える。生徒の自由記述では「しっかりあいさつができるようになった」「時間をきちんと守れるようになった」「相手のことを考えられるようになった」など、前向きな回答が多く見られ、あいさつや時間への意識、他者との関わり方を考えて行動できるようになったことが分かる。

教職員の評価では「親身な相談」が上位に入っている。SCの常勤化により、生徒を支援する体制がより整い、小規模校という特徴を生かして教職員がきめ細かく生徒に関わっていることが大きいと思われる。また、昨年度に続きすべての項目の基盤となる「満足度」が生徒・保護者・教職員ともに上位に入ったことが特徴である。

一方、Bの評価が低かった「分かりやすい授業」「学び合い活動」の項目については平成30年度から、名古屋市教育委員会が示している「なかまなビジョン」を踏まえた仲間との学び合いをテーマに学校努力点を設定している。昨年度より「分かりやすい授業」「学び合い活動」の項目とも生徒の評価は多少下がったものの、保護者、教職員の評価が上がった。今後も仲間と対話する活動を重視し、教職員間で互いの授業を見合う雰囲気や定着させ、「できた」「分かった」と実感できる授業づくりに継続して取り組んでいきたい。

昨年度より教科化された「道徳の授業」については、生徒の実態に応じた教材を精選し、行事の前に関連した題材を扱うなど、工夫して取り組むことで評価ポイントを上げていきたい。

「能力発揮」については、教職員の評価に比べて、生徒・保護者の評価が低い。生徒たちがそれぞれ得意なことや自信のあることを教師が見出し、活躍の場を設定することで、自己肯定感や自己有用感を感じながら、有意義に学校生活を送れる姿を目指したい。